

はじめに



子どもが自然に読書に親しめる環境を整備するため、平成19年2月に「静岡市子ども読書活動推進計画」（第1次計画）を、さらにその成果と課題を踏まえて平成24年11月には第2次計画を策定し、家庭、学校、地域等が連携・協力してその施策に取り組んでまいりました。そして、このたび「第3次静岡市子ども読書活動推進計画」を策定し、さらなる施策の充実を図ってまいります。

第2次計画策定時から急速に普及してきたスマートフォンやタブレット端末により、私たちは簡単にインターネットに繋がることができる高度情報社会が到来しています。

こうした状況の中で、第2次計画期間では、子どもたちが本を利用してより深く考えるためのツールとして、パスファインダー『ブック通リスト』を作成いたしました。この『ブック通リスト』は、小中学校や子どもたちの自主的な調べ学習で活用され、平成25年度業務改善奨励賞を受賞するなど、一定の評価を得ております。

また、先の国会において、超党派による議員立法で学校図書館法が改正され、努力義務として学校司書の配置が法的に位置づけられました。今後、その職務のあり方が議論されることとなりますが、子どもの読書活動を活発にしていく重要な役割を担うことが期待されています。

今回策定しました第3次計画に搭載されているそれぞれの取組は、学校や行政ばかりでなく、家庭や地域のボランティアの協力があってこそ実現していくものであることは言うまでもありません。今後とも関係各位のご指導・ご協力をお願いいたします。

結びに、この計画の策定にあたりご尽力いただきました皆様に心よりお礼申し上げます。

平成27年3月

静岡市長 田 辺 信 宏